第4講

予想質問① 高校生活・大学生活・その他頻出質問

チャプター1

高校生活での成長

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　高校生活で印象に残っていることは何ですか。

例を見てみよう

サッカーの夏の県大会でベスト8になったことです。1年間チームリーダーとして、部の問題点を探り、改善に向けて努力してきました。私のチームは守備がうまくいかず、仲間と顧問の先生とともに、何度もフォーメーションを調整してきました。それが試合に活かせるようになったとき、達成感を味わうことができました。

生徒用回答欄1

教員記入欄

書き込んでみよう

2　高校生活の中で、あなたを成長させたと思える出来事を一つ挙げてください。

例を見てみよう

高校2年生の部活の初戦で敗退したときです。些細なミスが重なり、先輩や仲間との意思疎通もうまくいきませんでした。しかし、そのときはじめて「この部の問題を見つけ、正したい」と思うようになりました。諦めることは簡単ですが、あと1年でどれだけ問題を解決することができるのか、考えることが大切だと思いました。サッカーの基本に立ち返り、いかに私たちが基本を疎かにしているのかを自覚し、練習メニューの見直しからはじめ、県大会でベスト8に残るくらいまでの成長を遂げました。

生徒用回答欄2

教員記入欄

チャプター2

課外活動・学業

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　部活動やボランティアなど、
あなたが取り組んできた課外活動を紹介してください。

例を見てみよう

高校1年生の頃から、文化祭や体育祭の際に使うクラスTシャツを企画・販売する会社を起業していました。できる限り低コストで運営するために、デザインは外部に発注するのではなく美術部に協力を促したり、高校のOBが経営する衣料品店と価格交渉をしたりしました。原価を除いた収益はユニセフに寄付をし、多くの人々の役に立てるよう、考えてきました。

書き込んでみよう

2　高校で委員会や生徒会活動はしていましたか。

例を見てみよう

はい、放送委員を3年間務めてきました。私は学校行事のときの音響スタッフに加え、アナウンスや音楽の選択なども担当してきました。私の高校は住宅街の中にあり、騒音にならないように音量を調整したり、おとなしい曲を選択したりするといった気配りを欠かさずに行ってきました。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

書き込んでみよう

3　高校の授業で好きだった科目、苦手だった科目は何ですか。

例を見てみよう

好きな教科は政治・経済です。特に、政策が景気をコントロールする役割を担っている点や、旧来の経済政策では景気調整が難しくなっていることなど、政治と経済との強い結びつきに気づくことができ、経済学部への進学のきっかけとなりました。一方、苦手な教科は英語です。新たな言葉を習得するのは大変で、今でもリスニングが上手にできません。その苦手を克服するために、毎日英語のニュースを欠かさず聞くようにしています。

生徒用回答欄3

教員記入欄

チャプター3

志望大学の理解

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　本学の建学理念を知っていますか。

例を見てみよう

はい、「自由と進歩」です。自由な発想のもと、新しい課題や問題に挑戦し続け、新たな伝統を創り上げていこうという意味であると、貴学のパンフレットで拝見しました。

書き込んでみよう

2　本学の雰囲気はどう思いますか。

例を見てみよう

建学理念と同じように、大学生の方々が自由に学んでいる雰囲気を感じました。また、貴学の「マス・コミュニケーション論」という講義を見学しましたが、先輩方は講義の内容に耳を傾け、真剣に学んでいました。その日の講義の内容はピューリッツァー賞についてでしたが、1枚の報道写真が世界中の人々に問題提起し、人々の認識を変え、解決に導いていく力があることを学びました。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

書き込んでみよう

3　オープンキャンパスには参加しましたか。
感想を聞かせてください。

例を見てみよう

はい、参加しました。比較政治論の模擬講義に参加し、政治体制と国民の意識の話を伺いました。また、個別面談で～～先生とお会いし、マスメディアと政治との関係を研究したいという話をしました。～～先生から、『ピューリツァー賞 受賞写真 全記録』という書籍を紹介していただき、今読んでいるところです。

生徒用回答欄3

教員記入欄

チャプター4

時事問題・その他

○ よくある質問とその回答例

各質問と回答例についての解説を参考に、自分だったらどのように回答するかを考えて次ページにまとめてみましょう。

書き込んでみよう

1　新聞やニュースを見ていますか。

例を見てみよう

はい。最近では○○県知事選がありましたが、その戦術に興味を持ち、新聞を毎日読んでいました。具体的な政策を提案する候補者もいれば、「○○を世界一に」という漠然としたスローガンを掲げつつ支持基盤に頼る候補者、SNSを活用した候補者など、様々な戦い方があることを知りました。

書き込んでみよう

2　最近気になっている社会問題を一つ挙げてください。

例を見てみよう

報道被害についてです。マスメディアの誤報や、編集して誇張したうえでの報道によって、関係者だけでなく、家族の名誉を傷つけるということが起こっています。場合によっては、無実の人であっても仕事を失ったり、一家離散の憂き目にあったりします。名誉回復ができたとしても、元の生活が取り戻せないこともあります。法整備が必要であるのはもちろんですが、マスメディアが情報の選別を慎重に行うとともに、人権を保つ配慮が必要ではないかと思います。

生徒用回答欄1

教員記入欄

生徒用回答欄2

教員記入欄

3　事前課題小論文を受けた感想を聞かせてください。

例を見てみよう

小論文のテーマである「現代のジャーナリズムの問題及び課題」について丁寧に思考をめぐらす機会がなかったので、最初は戸惑いました。しかし、さまざまな書籍や論文を読みながら、ジャーナリズムで求められる即時性と正確性が相反することがあることに気づきました。また、そもそもその現象の歴史的な文脈が理解できないと、部分を切り取って報道し、それが誤解を持ったまま世論を形成するという問題も理解できました。そして、先生方がなぜこのテーマを私たちに課したのか、その意図が少し垣間見えた気がしました。

4　最後に、私たちに質問はありますか。

例を見てみよう

先程の問答で、先生方に「ジャーナリズムの観点から報道のあり方をより深く考えてみた方がよい」とアドバイスをいただきました。私は最近ではスロージャーナリズム、即時性よりも丁寧な取材を経て報道するメディアのあり方が大事であり、私もそのようなジャーナリストを目指したいと考えています。こうした問題意識を育てるような書籍や論文があれば、ご紹介いただきたいです。

生徒用回答欄3

教員記入欄

生徒用回答欄4

教員記入欄